

2024年度

武蔵野中学校

入学試験問題

国語

注意

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 試験時間は 50 分です。
3. 解答はすべて解答用紙の決められたところに記入しなさい。
また、字数制限のある問いに関しては句読点も字数に含みます。
4. 受験番号、氏名を解答用紙の決められたところに記入しなさい。

受験番号	氏 名

一 次の各問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の文の～～線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- | | | |
|------------------|------------------|----------------------|
| ① 雨雲がイドウする。 | ② タクシーがテイシヤする。 | ③ 困っているサイに、友人に助けられた。 |
| ④ 彼の実力を高くヒョウカする。 | ⑤ メンカの栽培がさかんな地域。 | |

問二 次の①～⑤の文の～～線部の漢字の読み方をひらがなで答えなさい。

- | | | |
|--------------------|------------------|-------------------|
| ① この店は夜九時まで営業している。 | ② ばくだいな財産を築く。 | ③ 解決したはずの問題が再燃する。 |
| ④ 番組を録画しておく。 | ⑤ 結果だけでなく過程も大切だ。 | |

問三 次の①～③の三つの□に共通する漢字を、後のア～カからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は一度しか使えない)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① 参□・直□・□光 | ② □行・□境・反□ | ③ □元・世□・風□ |
|------------|------------|------------|

ア 逆 イ 紀 ウ 立 エ 観 オ 考 カ 対
--

問四 次の①～③の文の（ ）に入る語句としてふさわしいものを、後のア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 母は（ ）物言いをするので厳しい印象があるが、その発言は正しいことが多い。

ア ふに落ちない イ 歯に衣着せぬ ウ 口が減らない エ こしの低い

② その選手の思いがけない大かつやくに、見る人は（ ）。

ア 後ろ髪を引かれた イ お茶をにごされた ウ 顔をつぶされた エ 度肝をぬかれた

③ 社長の（ ）優秀な人材とはどのような人物か、とても気になった。

ア わりを食う イ 足をすくう ウ めがねにかなう エ 型にはまる

問五 次の①～③の文の（ ）に入る語句としてふさわしいものを、後のア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。（同じ記号は一度しか使えない）

① ふわふわと降ってくる雪が（ ）わたがしのように見えた。

② （ ）手先の器用なあなたであっても、この機械を修理するのは難しいと思う。

③ 多少おくれても（ ）不都合はないから、あわてずにいらっしゃい。

ア	それほど	イ	なぜ	ウ	いまだに	エ	まるで	オ	いくら
---	------	---	----	---	------	---	-----	---	-----

問六 次の①～③の文の――線部と同じ使われ方をしているものを、後のア～エの――線部からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 努力さえすれば、君は上達する。

ア 小さな子どもでさえ気づくことだ。

イ 風が強いうえ、雨さえ降り出した。

ウ 兄さえ賛成してくれば何とかなる。

エ 簡単な技術さえ身についていなかった。

② 今日のことは絶対に忘れまいとちかう。

ア 彼女が同じ失敗をすることはあるまい。

イ その製品はもう売つていまい。

ウ あなたが無理することはあるまい。

エ もうこれ以上、私はなげくまい。

③ 友人のことが何となく案じられる。

ア 彼の言うことは十分信じられる。

イ 体調をくずして外出を禁じられる。

ウ 周囲に人影がなく、不気味に感じられる。

エ 妹は幼いが、一人で起きられる。

問七 後の①、②の文の主語と述語をそれぞれ答えなさい。文中になれば「×」と答えなさい。

(例) 小さなねこが鳴く。

主語↓ねこが 述語↓鳴く

① ふだん 冷静な 祖父も 妹の 受賞に とても おどろいた。

② 家の 庭の かたすみに あさがおの 種を 植える。

問八 次の①、②の文について、文の内容を変えずに、() 内の指示にしたがってそれぞれ書きかえなさい。

① 人間にとって不可欠なものの一つがやさしさだ。「やさしさ」を主語にして

② 松山^{まつやま}さんの出した提案に特に修正すべき点はないと感じた。「感じなかった」を述語にして

二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

「^①私は人からよくうらやましがられますが、私こそ本当はそういう人がうらやましい」という^{※1}フレーズも、^②診察室^{しんさつしつ}の中ではよく聞きます。

また、そういう人たちはたいいてい、「あの人はこういう性格でこんな生活を送っているはず」と自分の中で勝手に想像し、それに対して「うらやましい」と思っているのも特徴^{とくちょう}的です。^③A

ある女性は、「きつとああいいう人は友人関係^{はな}も華やかで、毎日のように出かけているんだと思います。本当にうらやましい」と友だちのことを語っていたのですが、「それは本人から直接聞いたことなのですか？」と尋ねると、「いえ、そうではないのですが、きつとそうに決まっています」と言います。そのように、自分がうらやましいと思っている他人のイメージは、必ずしも事実ではない場合も少なくないのです。^④B

このように多くの人は、お互い^{たが}に相手の上に作り上げたイメージに対して、「あの人はいいな。うらやましい」と^{※2}羨望^{せんぼう}の気持ちを抱き、ときには「どうしてあの人だけ？」と嫉妬^{しつと}しているのです。

そして、「それに比べて私ってダメ」と自分を責め、（^⑤②）「きつとあの人は、私のことなんてバカにして笑っているに違^{ちが}いなし」と^{※3}被害妄想^{がいがいもうそう}のような感情までを抱いてしまうことがあるのです。

診察室にやってくる人の多くが、口々に「あの人がうらやましい」と同じように話すのを聞いて、私はときどきこんなことを思います。

「この人たちを一カ所に集めて話をさせたら、^⑥③」はずなのに。いや、でもそれでも、私のほうがこの人より、もつとたいへんだ。などと比べ合いをししてしまうだろうか……」

繰り返になりますが、他人と比較^{ひかく}して「うらやましい」と思う感情を完全には消すことはできません。大切なのは、^⑦④その気持ちが自分を否定する感情にすり替^かわるのを防ぐことです。

そして同時に、「私もみんなに負けないようにがんばろうかな」と前向きに考えること、「でも、うらやましがられるあの人も、きつと悩みや迷いはあるのだろう」と想像することも必要でしょう。

もちろん、私にも「うらやましいな、こんな風に生きられたらいいのに」と思う人はたくさんいます。^⑧C

この人みたいに子どもがいいたら、あの人みたいに留学経験があったら、彼女^{かのじよ}みたいにスタイルがよかったら……^⑨⑤比べたりうらやましがったりする気持ちには、終わりがありません。

こうやって考えていると、マイペースな私ですら、ときとして「どうして私もあの人みたいになれなかったのかな」と落ち込^こんでしまうことがあります。そして、「私の生き方は間違っていたかも」と後悔^{こうかい}し、「私には人に誇^{ほこ}れる点なんかひとつもないんだ」と、生きる自信を失いそうになることさえあるのです。

(⑥)、そのたびに私は自分に言い聞かせるようにしています。

「いやいや、おそらくこんな私でも、友だちから見ると、香山さんって、いつものんき、あんなに気楽に生きられたらいいだろうな」とうらやましがられているに違いない。本当にその人がハッピーかどうかは別にして、どんな人でも、他人からは、あの人のほうが自分よりすばらしい、恵まれている」と見えているのだから」

もちろんそう思っても羨望や嫉妬から解放されることはないのですが、それでも少し気はラクになります。そこでちょっと「まあ、お互いさまだし」とほっとできたら、次は自分にきいてみます。「本当にあの人がうらやましいなら、やってみる？ 血のにじむような努力をしてみる？」。

(⑦) 多くの場合、自分の中からこんな声が聞こえてきます。

「いや、あんなだったらなつたで、たいへんそう。私はけっこう、いまの生活やいまの自分が気に入っているから、これでけっこう」

⑧ 多くの人の場合も、同じなのではないでしょうか。

比べる気持ちは、止められません。比べる気持ちが、自分を成長させてくれることもあります。D

でも、比べる気持ちに、自分で歯止めをかけられるようにしておきたいのです。そして、自分に言い聞かせるのです。

「あの人のことはうらやましいけれど、私は私なんだから。これでいいんだ」

これで、比べ合いの魔法は解けるはず。ぜひ、お試しを。E

『「今のあなた」で大丈夫！』 香山リカ 新講社

※1 フレーズ……決まった言葉。

※2 羨望……うらやましいという思い。

※3 被害妄想……他人からいやがらせや危害を加えられるという思いこみ。

問一 ―線部①「私は人からよくうらやましがられますが、私こそ本当はそういう人がうらやましい」とありますが、こうした発言をする人たちの多くには、どのような特徴があるのですか。」「」に羨望や嫉妬を抱いているという特徴。」につながる形で文中から十四字でぬき出し、最初と最後の五字を答えなさい。

問二 (②) (⑥) (⑦) に入る語として適切なものを、ア～コの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は一度しか使えない)

ア	でも	イ	それでは	ウ	つまり	エ	それとも	オ	なぜなら
カ	すると	キ	いわば	ク	さらに	ケ	ところで	コ	たしかに

問三 【③】に入る内容を、ア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア よかった、みんなに比べて私はダメじゃない」と安心し合える

イ どうして、みんなそんなに悩んでいるの」と笑い合える

ウ なんだ、みんな同じだったのね」と理解し合える

エ がんばれ、あなたにも長所があるよ」と励まし合える

オ そうか、みんな見下された経験があるのね」と慰め合える

問四 ―線部④「その気持ち自分が自分を否定する感情にすり替わるのを防ぐ」とありますが、これはどうすることだと言いかえられていますか。」「」すること。」
につながる形で文中から二十三字でぬき出し、最初と最後の五字を答えなさい。

問五 ―線部⑤「比べたりうらやましがったりする気持ち」とありますが、このような気持ちをもたらす利点として筆者が挙げていることを、文中から十三字でぬき出し、最初の五字を答えなさい。

問六 ――線部⑧「多くの人の場合も、同じ」とありますが、ここで述べられている、「多くの人」が共通して持つ心理についてまとめた次の文の□に入
 ることばを、指定された字数でそれぞれ文中からぬき出しなさい。

自分より他のだれかのほうが												A											
B												と感じ、うらやましく思ったとしても、相手のようになるために											
B												C											
(七字)												(十二字)											
かと冷静に考えたとき、												にそれなりに満足していることを自覚するという心理。											
(七字)												(十一字)											

問七 本文の内容と合っているものを、ア～カの中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 筆者は、自分ののんきな性格を友だちからうらやましがられていたことを知り、人間はお互いに羨望や嫉妬を向け合う性質を持つ生き物だと気づいた。
- イ お互いに比べ合うのをやめるには、相手と自分が別の人格であり、自分は相手と異なる生き方や生活があることを理解することが大切である。
- ウ 羨望や嫉妬の感情は人間の自信を失わせ、被害妄想を生む原因となりがちなので、完全に消してしまえるように努力しなければならない。
- エ 他人に対してうらやましさを感じたときには、相手の心情も想像して、相手も悩んだり迷ったりしている可能性があるので考えるべきである。
- オ だれかをうらやむ気持ちを持つことはさまざまな利点をもたらすため、その気持ちを大事にするべきであり、変えようとする必要はない。
- カ 筆者は、他人をうらやましがっている人たちを診察室に集めて話し合わせ、その人たちが自分の羨望や嫉妬を反省するための機会をつくっている。

問八 この文章には、次の文がぬけています。文中の[A]と[E]のどこに入れるのが適切ですか。一つ選び、記号で答えなさい。

というより、ちょっと極端きょくたんな言い方ですが、何人かいる友だちの全員に、それぞれ、「この点がうらやましい」と思う部分がある、と言ってもよい
らしいです。

問九 本文は「他人をうらやましく思ったときの対処」について書かれています。人間はだれでも他人をうらやましく思うことがあります。これまでに他人をうらやましく感じた経験を述べた上で、その気持ちにどのように対処していくべきか、あなたの考えを百字以上百二十字以内で書きなさい。